



# “知って”応援

## JAのことを知ろう!

ホームページ、SNS (facebook)、広報紙「MINORI」などでJAの取り組みや直売所情報を受け取ることができます。ホームページでは、お住まいの地域の農家さんの庭先直売所を調べられ、自宅近くで新鮮な旬の農産物をお手頃価格で購入できます。



JAのことは  
ホームページ



直売所情報は  
facebook

## JAや地域農業を知って、暮らしにおける農業の役割を考えてみませんか?

JA直売所に行ってみる、農家の庭先直売所に行ってみる、など色々な方法でJAや地域農業を知るチャンスがあります。また、都市農業は、都内の学校給食に地元農産物の食材提供、良好な景観の保全、災害時の避難場所・食材の供給などの役割を担っています。



農家の庭先直売所

准組合員は

# 農業振興の

# 応援団です

JAは農業者を中心とする協同組合ですが、地域の農業を豊かにするには、農業者だけでなく、地域みなさんの理解も重要です。JAグループでは、准組合員を農業振興の応援団と位置づけ、地元野菜を食べたり、事業を利用していただくことで、農と緑を守り、安全・安心な暮らしができる地域社会の実現を目指しています。



# “食べて”応援

## 地元農産物を積極的に食べて農業を応援しよう!

JA東京みらいでは、みらい新鮮館3店舗(東村山・清瀬・東久留米)のほか、生産者が直接運営する直売所2店舗(保谷・田無)を設け、新鮮な地元農産物を地域に届けています。



新鮮なお野菜がいっぱいね♪

「地産地消」とは、地元で生産されたものを地元で消費すること。近年、消費者の農産物に対する安全・安心の高まりや、販売形態の多様化が進む中で、消費者と生産者をつなげる「地産地消」への期待が高まっています。

JAの直売所に並ぶ農産物は鮮度抜群!身近な場所で収穫した作物は新鮮なうちに食卓に届き、栄養を損なうことなく味わうことができます。

## 近くでとれたものを食べて「フードマイレージ」を減らそう

フードマイレージとは、食料の重さに輸送距離をかけた数字です。輸送距離が長くなるほど、二酸化炭素の排出量が増え、環境負荷が大きくなることを表しています。残念なことに、日本は国民当たりのこの数値が世界第1位...!?



このまま輸入食料に頼っていたら、日本では食料を作り出す力が弱まり、もしものとき食べ物が足りなくなる可能性があります。そのほかにもフードマイレージが増えると、地球温暖化が進行し、異常気象や病気、飢餓などを引き起こす恐れも高まります。「地産地消」は、輸送に伴うエネルギーを削減し、環境負荷を減らせる上、新鮮でおいしいという利点があります。

おいしく賢く直売所を利用しましょう!

# “作って”応援

## 農産物を自分で作って応援しよう!

野菜を作ったり、収穫したことはありますか?実際に自分で育ててみると、天候に左右される大変さや、収穫の喜びを実感できます。JAでは地区によって農業体験などのイベントを開催していますので、ぜひご参加ください。また、農家(園主)が野菜づくりを指導する体験型農園では、都会にいながら手ぶらで種まきから収穫まで一連の農作業を体験することができます。(体験型農園の問い合わせは、JAまたは各行政まで)



上手にできたね!

# “使って”応援

## 農産物を自分で作って応援しよう!

JAでは、フラダンス、料理、ヨガ、手芸、コーラス教室や、ミニデイサービスなど、さまざまな交流の場を設けています。自分にぴったりの活動に参加してみませんか?お住まいの地域によって活動が異なりますので、詳しくはお近くの支店にお気軽にお尋ねください。



地元農産物を使った料理教室



元気な高齢者が集りミニデイサービス

# “伝えて”応援

## 意見や要望を伝えて応援しよう!

准組合員は総代会での議決権はありませんが、JAの各種事業を利用する中で、「もっとこうだったらな」という想いをJAに伝えることはできます。JAは組合員や利用者の意見を聴き、運営に役立てています。

## MIRAI's Q&A!

Q JAを利用することによる利益はどのように使われているのでしょうか?

A JAは、総合事業(貯金・共済・販売・購買など)で得た収益の一部を地域農業振興に役立てています。組合員をはじめ地域の皆さんがご利用することにより、地域の農業、地域の畑、地域の緑を守っています。